

令和6年度 大田区立東調布中学校 自己評価 報告書

黄色で示してある箇所は学校独自の成果指標です。

○ 本校の概要

◆学校規模 全校生徒数 287名 ・学級数 通常学級9学級、特別支援学級2学級 ・教員数24名(校長・副校長・看護教諭含む)

◆学校の特徴 ①生徒会とJRC(青少年赤十字)が中心となり、ボランティア活動が盛んである。
②部活動については、運動系が8部、文化系が6部、合計14部と数多く開設している。
特色ある部活動としては三味線部、華道部、テニールディング部等がある。
③学校支援本部と学区5町会が学校に対して大変協力的で、日常的に緑化活動が行われている。

令和7年2月14日

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善案	学校関係者記入欄										
								評価 人数 コメント										
生予個 き測別 る困目 力難標 をな1 育未 成来 社 会を 創 造 的 に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	4: 80%以上	4	保護者アンケート「学校では体験的な活動や、他と協働して取り組む活動が行われている。」の肯定的回答の割合 94. 6%	A 8	・「STEAM教育」について知識がなく調べてみました。理念は理解できましたが、学校側がカリキュラムにどう取り込んでいくかが課題になると思いました。 ・これからのデジタル社会における生徒の向上は素晴らしいと思います。職場体験も大変良いことだと思います。 ・今後も大小様々な業種と連携して、より多くの体験や経験を積む事を継続していただき、こども達の将来へ繋がっていく事を望みます。 ・科学・技術・工学・芸術・数学を分野別ではなく学習するのは、苦手なものも違った角度からみたら面白いなあーと興味を持つことができそうでよいなと思いました。(先生は大変ですね…)									
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							4	保護者アンケートで「学校では体験的な活動や、他と協働して取り組む活動が行われている。」の肯定的回答の割合	3: 70%以上	B 1	・様々な取組により、生徒の創造性が高まっていると感じる。 ・職場体験やANA見学ツアー等、具体的な活動を通してこども達が自分の将来を考えるいい機会になったのではないのでしょうか。 ・他と協働して取り組む活動を生徒が取り組んでいる自覚があるのかどうかわかりませんが、今後増えていくことを期待しています。体験的な学習はとても大切で身につくものであるで、これからたくさん機会があるかよいと考えます。				
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。												C 0	・各教科において教科横断的な内容に触れたり、課題解決活動を行うよう授業改善を行った。 ・科学に対する興味関心を高めることを目的に、東京都事業「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」を活用し、1学年生徒を対象に「ANA見学ツアー」を実施した。今後も都や区、企業が実施する事業を活用し、生徒に様々な体験をさせていく。		
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。														D 0	
お世個 お界別 たをつ 標担な2 うがる 材国 を際育 都成 市し ま す	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	4: 80%以上	4	保護者アンケート「生徒たちは他を思いやる態度を身につけている。」肯定的回答の割合 93. 1%	A 7	・英語が話せることの土台は国語力とと思っています。②の大事さをこども達に理解してもらうことが重要と思います。 ・区の目標でもある「グローバル化と地域力」そのための外国語教育は非常にプラスであると思います。 地域にある伝統や歴史や文化の推進の教育内容は将来に向けた大きな価値があると思われるます。 ・人として思いやる気持ちを大切に持ち続けていただきたいと思います。 ・英語力大切だと思います。それと同じくらい日本の文化も勉強して欲しいです。よい所沢山あります。三味線部や華道部頑張ってください！ ・生徒の習い事などの学習状況にもよるが英語教育が浸透していると感じる。 ・外国語教育指導員の方々の授業、英語に慣れ親しみを覚える様指導している様に思います。									
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							3	保護者アンケートで「生徒たちは他を思いやる態度を身につけている。」の肯定的回答の割合	3: 70%以上	B 2	・SDGsの観点を持ち、各教科、学校生活全体において課題解決に向けた内容を取り扱った。				
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。												C 0	・外国語教育においては、3年間でスキルがとて上がったことを感じます。外国語教育指導員との会話がスムーズに進んでいること等、素晴らしいです。 道徳の授業で学んだ内容が実生活とむすびつき、生かされると良いなと考えています。なかなか難しい問題です。 SDGsは全教科、生活において考えていくべき課題がたくさんありますね。		
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。														D 0	
た一個 め人別 のひ目 基と標 礎り3 とがな 個性 力と能 力成を し発 揮する	児童・生徒が豊かな人生を生きる上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	4: 80%以上	4	生徒アンケート「先生方の授業はわかりやすい。」肯定的回答の割合 90. 5%	A 8	・詳細な教育内容は分かりませんが、やはり気になるのが「いじめ問題」でその取組への教育もしっかり行っていることは安心しています。 ・人生の中で最も成長する大切な時期なので、生活習慣について重要視した教育が望ましく思います。 ・土曜の補習授業をもっと活用して欲しいです。 ・小学校が隣接されている地域性が大いに生かされている。									
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							3	生徒アンケートで「先生方の授業はわかりやすい。」の肯定的回答の割合	3: 70%以上	B 1	・生徒アンケート「私は人がいやがることをしたり、いったりしていい。」肯定的回答92. 5%				
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。												C 0	・(再掲)保護者アンケート「生徒たちは他を思いやる態度を身につけている。」肯定的回答の割合 93. 1%		
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。														D 0	
	②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべてのこどもに確かな学力の育成を図っている。	②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	3: 70%以上	4	生徒アンケート「私は、授業で分からないことを先生に質問する。」肯定的回答62. 0%	B 1	・道徳の授業を中心に、いじめ防止を目的に指導していただける事大変うれしく思います。 ・道徳の授業中はいい人が続出する！！とよく聞きます。それが実生活でも考えられる人に成長して欲しいと切に願います。「人間学」が必要です。 少人数授業はとても良いです。質問しやすい環境は、個の性格もあると思います…。生活習慣や食育は家庭とも連動しており、とても良いです。お手紙等。									
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							3	生徒アンケートで「先生方の授業はわかりやすい。」の肯定的回答の割合	3: 70%以上	B 1	・小中一貫教育については情報共有をされているとのこと。小学校は保育園・幼稚園との共有をされているので、全てつながっているのですね！				
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。												C 0	・養護教諭、各担任を中心に「早寝・早起き・朝ご飯」月間の取り組みを行った。また、学級活動や総合的な学習の時間においても望ましい生活習慣について扱っている。 ・給食指導は各学年教員が全員で行っている。また、フードロスなくすように取り組んでおり、成果が見られる。		
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。														D 0	
	③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。	③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	4: 80%以上	4	生徒アンケート「先生方の授業はわかりやすい。」肯定的回答の割合 90. 5%	A 8	・詳細な教育内容は分かりませんが、やはり気になるのが「いじめ問題」でその取組への教育もしっかり行っていることは安心しています。 ・人生の中で最も成長する大切な時期なので、生活習慣について重要視した教育が望ましく思います。 ・土曜の補習授業をもっと活用して欲しいです。 ・小学校が隣接されている地域性が大いに生かされている。									
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							3	生徒アンケートで「先生方の授業はわかりやすい。」の肯定的回答の割合	3: 70%以上	B 1	・生徒アンケート「私は、授業で分からないことを先生に質問する。」肯定的回答62. 0%				
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。												C 0	・養護教諭、各担任を中心に「早寝・早起き・朝ご飯」月間の取り組みを行った。また、学級活動や総合的な学習の時間においても望ましい生活習慣について扱っている。 ・給食指導は各学年教員が全員で行っている。また、フードロスなくすように取り組んでおり、成果が見られる。		
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。														D 0	
	④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。	④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	4: 80%以上	4	生徒アンケート「先生方の授業はわかりやすい。」肯定的回答の割合 90. 5%	A 8	・詳細な教育内容は分かりませんが、やはり気になるのが「いじめ問題」でその取組への教育もしっかり行っていることは安心しています。 ・人生の中で最も成長する大切な時期なので、生活習慣について重要視した教育が望ましく思います。 ・土曜の補習授業をもっと活用して欲しいです。 ・小学校が隣接されている地域性が大いに生かされている。									
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							3	生徒アンケートで「先生方の授業はわかりやすい。」の肯定的回答の割合	3: 70%以上	B 1	・生徒アンケート「私は、授業で分からないことを先生に質問する。」肯定的回答62. 0%				
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。												C 0	・養護教諭、各担任を中心に「早寝・早起き・朝ご飯」月間の取り組みを行った。また、学級活動や総合的な学習の時間においても望ましい生活習慣について扱っている。 ・給食指導は各学年教員が全員で行っている。また、フードロスなくすように取り組んでおり、成果が見られる。		
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。														D 0	

学 校 別 力 目 ・ 教 師 力 を 向 上 さ せ ま す	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上します。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	保護者アンケートで「学校は学力の定着のために授業を工夫している。」の肯定的回答の割合	4:80%以上	4	保護者アンケート「学校は学力の定着のために授業を工夫している。」肯定的回答の割合89.3% 生徒アンケート「私は授業で学習したことは、理解できている。」肯定的回答88.4% ・毎回の学校公開では参観者にアンケートを実施し、授業者に還元している。 ・授業改善セミナーをはじめ、指導教諭の模範授業参観を全教科で行うなど、研修の機会を多くつうにした。 ・学校全体での研修以外に、各教職員が必要な研修を受ける機会を拡充していく。 ・特別支援教育推進のための校内委員会は、ほぼ毎週行うことができた。 ・教職員の業務負担は依然として大きく、大きな課題である。各種アンケートや家庭からの回答を求めるものをできる限り電子化し、回収や集計に必要な時間削減に取り組んでいる。また、教職員間の連絡には校務支援システムを活用し、情報の周知徹底の工夫をしている。	A	9	・③での取組評価が2であるのが気になる点です。まず先生方が心身共に健全でいられるような環境づくりが大切だと思います。 ・地域住民としては、授業参観等で限られた時間見させていただいていますが、おそらく教師の皆様は日常業務に加え校内研修含め数々の取組にあたり授業に生かしている事は良く頑張っている事と思われます。 ・教職員の負担軽減の為に保護者の協力が必要不可欠だと思います。 ・先日授業終わりにタブレットで振り返りを入れているところをみましたが、とても個人差があるなと感じました。 ・教師力が高く、生徒にとって授業内容が工夫されていると感じる。 ・電子黒板での授業に依り、より分かりやすくなりタブレットもスムーズに使いこなしている姿を見て我々は取り残されていくようです。 ・教職員の方は日頃から生徒たちのために大変な業務をこなしてくださっていると感じています。少しでも負担が少なくなる取り組みができると良いと思います。 先生方の日々の努力が生徒たちの学力や理解度に反映されていると感じます。ありがとうございます。
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特徴を生かしたりして教育活動を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3		3:70%以上			B	0	
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。	2		2:60%以上			C	0	
		④ICT機器の利活用についての校内研修を行い、研修で得た手法を授業に生かしている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3		1:60%未満			D	0	
た 自 個 め 分 別 の ら 目 学 し く 標 び く 5 を い 支 き 援 い き ま す と 生 き る	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えらるとともに、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	生徒アンケートで「人のいやがることをしたり、行ったりしていない。」肯定的回答の割合	4:90%以上	4	生徒アンケート「人のいやがることをしたり、行ったりしていない。」肯定的回答の割合92.5% ・今年度、教室に入ることが困難な生徒が利用するための別室「ジャスミン・ルーム」を開設し、2学期から本格稼働している。別室の運営については校内委員会で検討を重ね、登校支援員を活用しながら生徒への支援を行っている。 ・学校生活調査やQJ調査の結果を分析し、各生徒のストレス症状や学級毎の特徴の把握に努め、面談や学級経営に活用した。 ・生徒間トラブル発生時に迅速な対応を心がけ、いじめと判断されるものについては、人権教育の観点での説諭を行った。 ・対応時には複数名の教職員で対応し、組織的対応を徹底することができた。今後も情報共有を密にし、組織的な対応をしていく。 ・週1回の相談部会において生徒の情報共有を行っている。また、相談部会での報告事項は全教職員に共有する体制ができている。この体制を継続していく。 ・生徒の指導時には複数の教員が役割分担をし、指導が適切に行われるようにしている。 ・生徒の心情に寄り添い、生徒の話を傾聴するよう、指導方針を定めている。	A	7	・実際にスクールカウンセラーに相談して友人関係の問題が解決できたという話を聞いてありがたい存在と実感しました。 ・具体的なことは良く分かりませんが、学校の各種対応は一人一人の事情に応じインクルーシブなシステムの構築をしている事は良い事であると思います。 ・学校の中で一番難しい問題ですね。先生方の負担を増やさぬように、専門的な人員を多用すべきだと思います。 ・生徒の居場所があるのは大事だと思います。ジャスミン・ルームよいですね。 ・保護者を含め多様な考え方があって、様々な取組により支援が行き届いている。 ・一人一人の生徒達を見守って頂いている姿に感謝致します。 ・「ジャスミン・ルーム」について周知されていません。 いじめトラブル等、認知した場合の対応は全教員での共有等、素晴らしいと思います。
		②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。	4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満の教員が回答した。 2:60%以上80%未満の教員が回答した。 1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。	3		3:80%以上			B	2	
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4		2:70%以上			C	0	
		④生活面での指導が必要な際は、生徒の心情に寄り添いながら、毅然とした姿勢で行う。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4		1:70%未満			D	0	
安 柔 個 人 軟 別 な で 目 教 創 標 造 6 環 的 境 な を 学 ぶ 空 間 と 安 全 ・	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	保護者アンケートで「学校施設は安全が確保されており、生徒に対して災害等発生時の対応について指導している。」肯定的回答の割合	4:80%以上	4	保護者アンケート「学校施設は安全が確保されており、生徒に対して災害等発生時の対応について指導している。」肯定的回答の割合85.6% ・毎月実施している避難訓練の実施方法に工夫改善を加えた。具体的には訓練実施時の教員役割分担を毎回変え、誰もが災害等発生時に行動すべきことを確認できるようにした。この実施形態は来年度以降も継続していく。 ・定期的に教室などの施設安全確認を教員が実施し、安全上問題がある状態が認められた際はすぐに補修などの対応を行った。 ・校舎改築に伴い、工事内容によって生徒の通路変更を行うなど安全確保に留意した。	A	9	・現在行っている学校の改築に関し、近隣住民として一日も早い完成を望んでいます。 ・現在、学校を拠点とした避難所の運営は、主に地域住民が携わっているが、先生方にも加わっていただく必要性を感じます。 ・避難訓練大切だと思います。 ・学校改築がスタートしているが、生徒が安心して学校生活を送れる環境が整っている。 ・改修工事に伴い安全管理が充実しています。工事期間中の避難訓練の指導をよろしくお願いいたします。(避難ルートが違うため) ・どの教員も全ての対応に順応できるように訓練を行っているのはとても良いです！今後校舎改築に伴い、避難経路や安全確認が変わっていくことを考えると大変なことも多いですがよろしく願いいたします。
		②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4		3:70%以上			B	0	
						2:60%以上			C	0	
						1:60%未満			D	0	
学 地 学 校 校 域 校 域 を コ ・ 目 つ ミ 家 標 く ユ 庭 7 リ ニ ・ マ テ 地 す イ 域 の 核 連 と 携 し て 協 働 に よ る	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体で子どもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	保護者アンケートで「学校は教育活動の推進について地域の協力を得ている。」肯定的回答の割合	4:80%以上	4	保護者アンケート「学校は教育活動の推進について地域の協力を得ている。」肯定的回答の割合90.1% ・保護者、地域に対し生徒の活動を、学校だよりや学年だより、ホームページなどで発信することができた。 ・今年度から「学校日記」として生徒の活動の様子を随時ホームページに公開している。 ・ホームページは古い情報もそのまま残っている状況があるため、ホームページ上の情報整理が必要である。 ・地域教育連絡協議会を年間複数回実施し、学校と地域の間で情報共有を図ることができた。学校からの情報だけでなく、地域行事の情報も共有することができた。 ・学校支援地域本部の協力により、校内の緑化や、補習教室の運営支援を実施した。 ・学校支援地域本部の活動が計画的、継続的に行われている。 ・各種学校行事の運営補助、登下校見守りやあいさつ活動にPTAの協力を得ることができた。	A	8	・現在学校・家庭・地域が連携・協働して各種行事を行っていることに地域として大変感謝しております。加えて学校及び生徒への地域活動や行事への参加、今後とも宜しくお願い致します。 ・チアリーディング部などの部活動を通して行事へ参加いただき、地域の活性化に繋がっていると実感しています。 ・学校と地域を繋げていけるようにできたらよいなあと思っています。 ・地域イベント等、学校と地域が連携してにぎわいのある地域コミュニティが形成されている。 ・夏祭りやデイキャンプに参加し、協力していただけたこと、大変うれしく思います。ありがとうございます。学校・家庭・地域が一つになり、楽しく思いやりのある活動ができたらいいですね。 ・地域とのつながりは公立中学校としてもとても大切にしていける必要があると考えています。地域活動に幼小中とどれだけ参加したかで、卒業後の地元愛も変わってくるのかな？と考えています。今後も密に協力していくことを希望します。
		②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3		3:70%以上			B	1	
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3		2:60%以上			C	0	
		④児童・生徒に対し地域行事への参加を促し、地域の一員としての自覚を持たせる。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3		1:60%未満			D	0	

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載す